

# GREEN RADER

全農長野県本部情報  
／グリーンレーダー

2024 VOL.536

# 01

## ◆「第38回くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール金賞受賞作品

### 長野県知事賞



田口瑠兼さん 富士見小学校(3年生)



宮澤旬さん 日向幼稚園(5歳)



藤澤楓麻さん 昭和小学校(6年生)



## 🌸 新春にあたって ～ 令和六年 年頭メッセージ ～

### A-Policy【重点事業方針】

## 生産購買部 包装資材課の取組み

・2023年 各部のトップニュース ..... 03

### A-Reports

- ・第76回長野県畜産共進会 種牛の部  
農林水産省畜産局長賞に「JA長野八ヶ岳の古原敬久さん」 ..... 07
- ・「第11回令和5年度秋季長野県ブラック&ホワイショウ」開催 ..... 08
- ・「第41回牛乳乳製品利用料理コンクール」開催 ..... 08
- ・「第38回くらしと牛乳、牛さんありがとう絵のコンクール」表彰式を開催 ..... 09

・JAグリーン長野のネーミングライツに協力

- 長野パルセイロレディース ホーム初戦 ..... 09
- ・JA全農長野の事業現況 ..... 10
- ・今月のおすすめレシピ ..... 10
- ・1月のラジオ番組表 ..... 10
- ・編集後記 ..... 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

# 新春にあたって

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、春先の度重なる低温により県内各地で凍霜害が発生し果樹を中心に生産量・品質に影響を与え、全

県被害額は23億3,200万円に上る大きな被害となりました。また7

月～9月の月平均気温は3カ月連続して統計史上最高値を記録し「最も

暑い夏」となりました。その影響は、米の等級比率、生乳生産量、果物の変

色・落下など様々な品目で発生しましたが、農家の皆様のたゆまぬ努力

によって無事収穫の秋を迎えることができました。

5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」になり「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」への転換が図られ人流や経済活動に変化が見られました。が、ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻の長期化やイスラエル・

パレスチナ情勢など地政学的リスク等により、大幅な円安、原油価格の高騰が続く、国内消費者物価指数が41年ぶりの高水準となるなどインフレの影響により農畜産物の営農継続に大きな影響を与えました。

J Aグループは、我が国の食料自給率が先進国の中でも最低水準にあることから「食料安全保障の確立」、

自己改革の促進と組合員との対話による「自己改革実践サイクルの構築」、さらにJ A経営基盤の確立・強化に

向けた「人材の確保・育成」の取り組みを推し進める必要があります。

さらに食料・農業・農村基本法の見直しにおいては、「再生産に配慮した適正な価格形成の仕組みの具体化」

「農業の持続的な発展」を掲げ、農業者が将来に希望を持てる政策・対策を、政府・与党に引き続き強く訴えて参ります。

長野県本部の運営につきましては、今後とも県本部総合経営管理体制の堅持の基本をふまえ、会員J Aとの一体

## 令和六年 年頭メッセージ

的な事業運営により、生産販売から購買まで一貫する総合経済事業を通じて、J A組合員の営農と生活の向上に貢献するという基本理念に沿い、運営委員会会長として、引き続き健全な事業運営と長野県農業の発展に努力していく所存であります。

本年は「2022～2024 J A長野県3カ年計画重点事項」に連動した「県本部中期事業計画(令和4～6年度)」の最終年度となります。本計画は、①持続的な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持拡大、②販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化、③J A経済事業の活性化による活気ある地域社会づくりを基本目標としています。

特に産地基盤維持に向けた3部連携による担い手支援センターの取り組み、生産コスト上昇分の価格転嫁に向けた販売力強化および効率的かつ安定的な輸送体制の確立を、J Aおよび関係機関との連携により実践し、農業所得向上に向けた機能発揮

に努めるとともに、本計画の確実な実践を通じてJ A組合員へのメリット還元に取り組んで参ります。

本年は「辰年」です。辰(竜)は神獣や

霊獣のような権力の象徴として扱われ、天候をも支配する巨大な力から、辰年は時代を動かす「変革(転機)」や「激動」の年と呼ばれています。食料・

農業・農村基本法の見直し、アフターコロナへの対応、SDGsへの取り組みなど日本農業の転換点となる

チャンスと捉え、全農長野県本部は今まで培ってきた経験や糧にさらに成長し、また新たな時代の幕開けとしてAIやIoTを活用したスマート農業の普及など新たな改革や課題にも果敢に挑戦して参ります。

結びになりますが、組合員をはじめ地域の皆様がご健勝で、災害のない実り多い年となりますようご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

全国農業協同組合連合会長野県本部

運営委員会会長 神農 佳人



包装資材課

# 生産購買部 包装資材課の取組み

J A全農長野包装資材課は、機能性の高い包材の普及・拡大や低コスト段ボールの導入推進に取り組むとともに、物流問題へ対応するための規格検討を重点方針として事業を進めました。

## ■新形状段ボールの普及拡大

新形状段ボールの提案として、サニーレタス・グリーンリーフレタス等の段ボールに使用されているノンステープル機能を持つ「カニカニロック」に、新たな機能を追加した「クリックロック」を令和4年度から提案して参りました。改良を重ねながら輸送試験を行い、令和



5年12月1日より一部J Aに導入されました。従来品と比べロックの強度が上がったことに加え、開封しやすいという機能を持つことで、集荷場での検品作業の負担が軽減し、量販店での開封もしやすくなりました。今後

も全農長野では、作業性の向上や販売面に寄与する付加価値の高い機能性を持った包材提案を行います。

## ■低コストオープン箱の導入推進

段ボールの価格が高止まりしているなか、段ボール価格抑制の取り組みとして、ブドウやリンゴ等で使用しているオープン箱に対して、「ストロングコンテナー（王子コンテナー（株）特許品）」「ビクトレイ（レンゴー（株）特許品）」と呼ばれる低



コストオープン箱の提案を令和元年から行っており、試験や輸送

試験を行い、令和5年度までに多くのJ Aに導入されてきました。今後も果実だけでなく、野菜やきのこ段ボールへの導入に向けて検討を進めます。

## ■段ボール11型パレット適合サイズ検討

物流業界では、働き方改革関連法の規制「2024年問題」によりドライバーの確保や拘束時間の削減が必須となつています。段ボール業界も例外ではなく、荷役作業の見直しや輸送効率向上など物流改善が求められています。そのような課題のなか、包装資材課では各段ボールメーカー、販売部署と連携し、野菜をはじめ果実・きのこ・花きにおける段ボール11型パレット適合統一規格の検討を重点的に実施しました。なかでも野菜品目（ハクサイ・キャベツ・レタス）については実際に11型パレットを用いて検討を行い、来年度キャベツにて輸送試験を予定しています。

積載効率を向上させるために、パレットへの積み付け方の変更や、内容

物の入数変更などを検討しましたが、品形状・産地状況など課題が多く難しい取り組みです。物流改善だけでなく生産者の作業効率を含めたトータル改善を目標とし、引き続き取り組みを継続して参ります。



# 2023年 各部の トップニュース

## 【生産振興部】

### ①排水対策における平高畝栽培の取組み

ゲリラ豪雨をはじめとした長雨・曇天による作柄不良への対策として、県下各地で平高畝栽培の試験を開始しました。カットブレーカー施工等の圃場地下部への排水対策ではなく、平高畝



平高畝成型機による施工



成型機（ベットマイスター）を活用した畝高30cmを超える高畝を整形し排水を促す技術です。高畝による作業性改善も見込めるため引き続き検証と提案を進めて参ります。

### ②情報発信システムの稼働開始

情報発信システムは、令和5年10月より全JAにて稼働しました。システムを通じて県外販促情報や農薬登録情報、資材関連情報、営農指導情報等を本会各部門よりJA職員に発信していきます。また、県発信情報（病害虫発生

予察情報や果実生育情報）や産地の旬別気象表の発信も行っており、今後、より営農指導等に活用できる情報を随時発信しJAとの情報共有体制を構築して参ります。



情報発信システムでの発信情報（産地の旬別気象表）

## ③リング高密植栽培における機械化実演会開催

リング高密植栽培機械化体系の確立に向けて、トラクター、モア、肥料散布機など8メーカーから12機種を実演し使用性などを確認しました。イタリアや欧米など海外ではトラクターを利用した機械化一貫体系の導入が進んでおり、日本でもリング高密植栽培の普及拡大に伴い省力化に向けた機械化体系の確立も求められています。引き続き、作業の効率化、省力化に向けた提案を進めて参ります。



実演会の様子

## 【担い手推進センター】

### Ⅰ 担い手推進における取組み

昨年度より「担い手推進センター」が発足し、生産販売部門、生産購買部門、生産振興部門の部門間連携によりJA系統事業の推進、農業生産基盤の維持・拡大、生産販売力強化を進めています。

JAと本会担い手推進チームが連携し、担い手への訪問を行い、栽培技術や資材提案、課題解決に向けた取り組みを加速的に進めています。今後も継続した推進を行いJA経済事業の拡大を進めて参ります。

## 【生産販売部】

### Ⅰ 長野県青果物・花き取引会議

#### 通常規模で開催

6月2日、県内外の青果・花きの主要卸売会社23社の代表、県関係者を招き、総勢76名が出席し「令和5年度長野県青果物・花き取引会議」を開催しました。

主催者であるJA全農長野運営委員会の神農佳人会長が「本年度の取扱目標1, 564億円の達成のため、安全



挨拶をする神農会長

安心で新鮮な信州ブランドをさらに確立し、主要卸売会社の皆様とも連携しながら販売力の強化に努める」と挨拶し、本年度生産販売事業の重点方針を説明しました。代表卸売会社3社からは「物流（2024年問題）およびコスト上昇に対する卸売会社の考え方・進め方」「青果物の価格転嫁に向けた卸売会社の取り組み」「花きの流通・消費の変化」について提言をいただき、本年度の安定販売に向けた協議が行われました。

## Ⅱ 「りんご三兄弟」お菓子やお酒の商品発売

### 商品発売

「ニッポンエール」ブランドの商品として、「長野県産りんご三兄弟」をテーマに6社から9商品が発売されました。これらの商品を起爆剤に産地を盛り上げ、生果の消費拡大につなげようという取り組みです。10月20日の関係者による県知事訪問は多くのマスコミに取り上げられて商品が紹介されました。



県知事を訪問し各社が商品を説明

## 【生産購買部】

### Ⅰ 4年ぶりの開催!!

#### JA農機&資材フェスタ2023

長野県農協生産資材事業推進協議会は7月14日(金)と15日(土)の両日、長野市のエムウェーブで24回目となる「JA農機&資材フェスタ」を開催しました。農業機械コーナーでは、最新の大型農機から家庭菜園に役立つ小型農機まで会場に勢ぞろいするなか、来春の発売が予定されている「4条刈・50PSクラス」共同購入コンバインを紹介し



4年ぶりに開催したJA農機&資材フェスタ

他、自動運転技術の機能紹介や機械とシステムの連携による営農提案を行い、注目を集めました。また、肥料農薬農業資材コーナー、生産振興コーナー、生活関連コーナー、JAバンクやJA共済、JA農産物直売等の協力もいただき、2日間の受付来場者5,003名、成約金額約15億円と目標を達成し、JAグループの取り組みを広くPRすることができました。

## 令和5年4月開所「堀金農業機械整備センター」



堀金農業機械部品センターの外観と内観

農業機械課では、安曇野市堀金の「農業機械部品センター」に隣接する研修用整備棟を改修し、大型農業機械整備センターを開所しました。この整備センターは、上田市の「丸子農業機械整備センター」に次ぐ、県下2拠点目となります。近年、生産者の経営規模拡大に伴い、農業機械の大型化・高性能化が進展し、大規模経営農家・法人などの担い手からは、農機購入先のアフターサービス体制の充実が求められています。今後も計画的な整備受注を進め、高性能化する農業機械の修理・整備や多様化するニーズに対応して参ります。

## 【畜産酪農部】

### ■共励会、共進会を開催

信州産畜産物のPRとブランド強化、市場取引の活性化、生産者の生産意欲の高揚などを目的に、今年も共励会・共進会を開催しました。新型コロナウイルスに移行したことで、4年ぶりに関係者や生産者が集まり、表彰式や枝肉見学を行うことができました。

## 絵のコンクール、今年も多数の応募

「第38回くらしと牛乳、牛さんありがとっ」絵のコンクールの応募数が2021年以降、増えています。今年も県内各地の幼稚園・保育園・小学校から、この10年間で3番目に多い

807点の応募をいただきました。園児・児童が感じたまま画用紙いっぱい描かれた絵は見て大人も元気をもらえます。今年の入賞作品は表紙と本誌9ページをご覧ください。

### ■共励会、共進会

| 開催日                                                                                            | 名称                   | 会場        | 本誌掲載号   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------|---------|
| 4月17日                                                                                          | 第35回信州和牛枝肉共励会        | 京都食肉市場㈱   | 6月号     |
| ゴールデンウィーク向けの商材手当の場として年々重要度を増しています。国際的に人気の観光地京都や大阪で、きめ細かくて良質な信州産和牛が求められています。                    |                      |           |         |
| 10月18日                                                                                         | 第76回長野県畜産共進会 肉豚の部    | ㈱長野県食肉公社  | 12月号    |
| 信州ポークの味・肉質は県内量販店や飲食店からも高い評価を頂いています。県知事賞を目指して県内の生産者がしのぎを削ります。                                   |                      |           |         |
| 11月16日                                                                                         | 第76回長野県畜産共進会 種牛の部    | 長野県中央家畜市場 | 1月号(本誌) |
| 和牛は子牛の良し悪しが枝肉の評価に直結します。生育が良く、体型のしっかりした子牛を生産するために、その親牛である繁殖牛の素質も重要であり、繁殖牛の評価を競います。              |                      |           |         |
| 11月28日                                                                                         | 第76回長野県畜産共進会 和牛肥育の部  | 大阪市食肉市場㈱  | 2月号(予定) |
| 一年で最もにぎわう大阪の師走の台所に向けて優良な和牛を出荷し、その評価を競います。生産者の皆様に、丹精込めて育て上げた和牛の集大成を発揮していただく大切な共進会です。            |                      |           |         |
| 12月1日                                                                                          | 第76回長野県畜産共進会 交雑牛肥育の部 | ㈱長野県食肉公社  | 2月号(予定) |
| 県内A・コープ店舗などで「信州アルプス牛入賞牛」として販売されます。県内では、鍋物需要の重要な商材として人気があります。12月の売り場の花形スターです。                   |                      |           |         |
| 12月2日                                                                                          | 信州和牛松本即売会            | ㈱長野県食肉公社  | 2月号(予定) |
| 12月年末商戦の目玉商品として販売される和牛の共進会。県共進会と並んで優秀な和牛が出品され、翌日は長野県農協直販(株)が展示即売会を開催し、各お取引先に販売します。年末商戦のスタートです。 |                      |           |         |
| 12月4日                                                                                          | 第44回信州和牛(県内産)枝肉共励会   | 京都食肉市場㈱   | 2月号(予定) |
| 生まれも育ちも長野県の和牛が出品される共励会。12月は大坂市場の県共とこの共励会がまにに関西向けの最重要イベントです。京都市場では信州産和牛に対して、例年大変高い評価をいただいています。  |                      |           |         |

## 【生活部】

## 1 A・コープ店舗へのPPA導入



PPAを設置したA・コープファーマーズ上田店

燃料・ホームエネルギー課では全農エネルギー(株)と連携して、A・コープ店舗に対し完全自家消費型PPAの導入を進めています。PPAとは、太陽光設備を全農エネルギー(株)が所有し、発電された電気をA・コープ店舗が買い取る仕組みです。これにより、A・コープは設備を取得することなく電気料金の削減が可能です。

令和5年2月にファーマーズうえだ

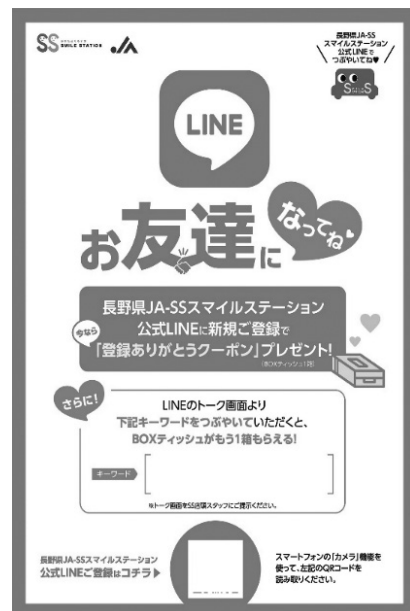
店に設置が完了し、令和6年3月までに新たに3店舗へ設置が完了する予定です。今後も脱炭素社会およびSDGsへの貢献を目的とした導入施設の拡大を目指します。

## 2 SNS・アプリを活用した供給促進の取組み

協同経営SSでは、LINEやアプリを活用した販促活動を積極的に行っています(10月末時点おともだち8,771件)。取り組み効果をまとめました。

(1) 利便性向上／SSアプリから最寄りのJA-SSを見つけることができます。将来的にはアプリを使って、SSの混雑状況や待ち時間を確認することができ、時間節約とストレスの軽減ができます。

LINEクーポン



(2) 販売促進／割引クーポンやポイント還元などの特典を提供しています。これにより、より安くガソリンやSS商品を購入することができます。

(3) 広報効果／組合員に対して、新商品やキャンペーン情報などを配信しています。LINEの会員は「おともだち」と呼びます。SSから「おともだち」へ情報を発信することで、お客様との親近感を持っていただくこともできます。

今後、組合員利便性向上のため積極的に推進して参ります。

## 3 「JAタウン」生活課へ

JAタウン「僕らはおいしい応援団」が、令和5年

度より生活課へ移管されました。

「僕らはおいしい応援団」は2022年度の「JAタウンアワード／ショップ部門」において、全国1位をいただきました。「旬の農畜産物の売り時を逃さない」ことで取扱高を伸ばせるよう、出店者との連携を密にするなかで日々業務を遂行しており、本年度も順調に実績を重ねています。

生活課では、エコープマーク品やJAオリジナル品を中心に取扱う独自eコマースサイト「らくJAんお届け」と、信州産農畜産物および加工品を取り扱う「僕らはおいしい応援団」の2つのECサイトを運営しています。両サイトを比較すれば、会員数や取り扱い規模に大きな差があり二枚看板といえる状態ではありませんが、そうなるよう、課を挙げてそれぞれのサイトの拡大に取り組んで参ります。



SSアプリ

# 第76回長野県畜産共進会種牛の部 農林水産省畜産局長賞に

## JA長野八ヶ岳の古原敬久さん

JA全農長野畜産酪農課は11月16日(木)、長野県内の和牛改良・飼養管理技術等を高めあうことを目的に、「第76回長野県畜産共進会 種牛の部」を開催しました。



農林水産省畜産局長賞に選ばれた古原さんの「あづま」号牛

出品されたどの和牛も県下トップクラスの発育・改良が施されており、とてもレベルの高い共進会となりました。各級の特別優秀賞には、1類／小山清志さん（JAみなみ信州）の「まいひめ3」号牛、2類／古原敬久さん（JA長野八ヶ岳）の「あづま」号牛、3類／古原敬久さん（JA長野八ヶ岳）の「こぼり」号牛、4類／井領稔さん（JA木曽）の「ゆず」号牛が選畜されました。この特別優秀賞のなかでも優秀である和牛に贈られる農林水産省畜産局長賞に選ばれた第2類の古原敬久さんの「あづま」号牛は、調教を含めレベルの高さが評価されました。

この「種牛の部」は、豚熱や新型コロナウイルス感染症の影響で約5年ぶりの開催となり、令和9年10月頃に北海道にて開催を予定している第13回全国和牛能力共進会（別名／和牛のオリンピック）へ向けた取り組みの一環ともなりました。全農長野としても和牛



閉会式での万歳三唱

のオリンピックに向け、長野県が優秀な成績を収められるよう関係団体・生産者と引き続き協力し、長野県内の和牛事業の発展に尽力して参ります。

「第76回長野県畜産共進会 種牛の部」入賞者

(敬称略)

| 類                    | 賞     | 受賞者  | JA    | 受賞牛                    |
|----------------------|-------|------|-------|------------------------|
| 1 類                  | 特別優秀賞 | 小山清志 | みなみ信州 | まいひめ3号(16685-1693-3)   |
| (種雌牛育成生後7ヵ月～14ヵ月未満)  | 優秀賞   | 山寺光昭 | 上伊那   | たかうめさとみ号(14166-8185-2) |
| 2 類                  | 特別優秀賞 | 古原敬久 | 長野八ヶ岳 | あづま号(16395-3590-1)     |
| (種雌牛若雌生後14ヵ月～17ヵ月未満) | 優秀賞   | 伊藤太郎 | 長野八ヶ岳 | うたの号(14018-0070-1)     |
| 3 類                  | 特別優秀賞 | 古原敬久 | 長野八ヶ岳 | こぼり号(16395-3575-8)     |
| (種雌牛若雌生後17ヵ月～20ヵ月未満) | 優秀賞   | 井領 稔 | 木曽    | こなつ号(16414-2716-4)     |
| 4 類                  | 特別優秀賞 | 井領 稔 | 木曽    | ゆず号(13675-2695-0)      |
| (種雌牛成牛)              | 優秀賞   | 小山清志 | みなみ信州 | みく号(14189-1594-8)      |

# 「第11回令和5年度秋季長野県ブラック&ホワイートショウ」開催

長野県ホルスタイン改良同志会（事務局／J A 全農長野畜産酪農課）は11月25日（土）、「第11回令和5年度秋季長野県ブラック&ホワイートショウ」を小諸市の小諸家畜市場にて開催しました。このショウは、長野県内の代表的なホルスタイン種を展示し、その改良水準を比較検討し、今後のホルスタイン種の改良と生産者同士の交流を促進するとともに、酪農の発展に寄与することを目的に、春と秋の年2回開催しています。



グランドチャンピオンに選ばれた小林さんの  
スプレンドール ファーストG アイリア クリツシー

今回は、長野県内外の生産者が手塩にかけて育てた33頭の乳牛が集まり、月齢ごとに第1部〜10部に分けて審査が行われました。審査員には、群馬県で酪農を営む遠坂和仁氏を迎え、出品牛の体形バランス等の審査講評をしていただきました。

審査の結果、グランドチャンピオンには、小林政幸さん（所属／浅間ブリーダーズ）のスプレ



審査の様子

ドール ファーストG アイリア クリツシー（Ⅱ表紙右下）、リザーブグランドチャンピオンには、小林政幸さんのスプレンドール アプリコット メリツク リコツタが選ばれました。

また、第11部ジュニアリードマンの審査では、小学生から高校生が牛を引く技術を競い、中学生以下の部では新海江美さん（南牧南小学校）、高校生以上の部では新海治美さん（とわの森三愛高校・北海道）がベストリードマンに選ばれました。

当日は寒さの続く1日でありましたが、県内を中心に多くの出品があり、若き酪農家の熱気あふれるショウとなりました。また、県内外から多くの酪農関係者が参観に訪れ、有意義な情報交換の場となり、今後の県内酪農事業の発展に寄与するショウとなりました。

今後も酪農家の相互交流を深め、乳牛の改良・生産の一助となるよう努めて参ります。

# 「第41回牛乳乳製品利用料理コンクール」開催

長野県牛乳普及協会（事務局／J A 全農長野畜産酪農課）は10月25日（水）、J A 長野県ビルで「第41回牛乳乳製品利用料理コンクール」の書類審査会を開催し、入賞者9名が決まりました。

厳正な審査の結果、応募総数196点のなかから野木彌生さんの「スパイシー！ 鮭のカレーミルク煮込み」が最優秀賞（長野県知事賞）を受賞しました（Ⅱ本誌10ページ「今月のおすすめレシピ」に掲載）。生鮭と野菜を牛乳とカレーを使って減塩しておいしく、ごはんにもパンにも合うおかずに仕上げたレシピです。

特に高校や調理製菓専門学校から多数の応募があり、牛乳やチーズ、ヨーグルトなどの乳製品を活用した多彩なアイデアを盛り込んだレシピが寄せられました。入賞作品は牛乳・乳製品をメインに活用したデザートや、主菜・副菜などバラエティに富んだ作品が多くありました。

このコンクールは、一般消費者、学生を対象に日常の食生活のなかに牛乳および乳製品をより活用してもらう動機付けと定着を図ることを目的に開催しています。コンクールをとおして、後援をいただいた関係団体と共に今後も「安心・安全の信州産牛乳」の牛乳・乳製品の普及と消費拡大に努めて参ります。

※入賞作品はレシピの記載内容等の確認後、全農長野ホームページに掲載します。

# 「第38回くらしと牛乳、牛さんありがとう絵のコンクール」表彰式を開催

11月11日(土)、JA長野県ビル13A会議室で長野県牛乳普及協会主催による「第38回くらしと牛乳、牛さんありがとう絵のコンクール」の表彰式を開催し、金賞10名を表彰しました。このコンクールは園児・児童の牛乳利用普及拡大及び酪農理解醸成を目的に開催しています。

応募総数807点のなかから、厳正なる審査の結果、金賞10名・銀賞10名・銅賞10名・佳作2名を選考し、金賞の部の長野県知事賞には富士見小学校の田口瑠兼さん、昭和小学校の藤澤楓麻さん、日向幼稚園の宮澤旬さんの3名が選ばれました。

入賞された皆様  
の絵は、牛乳を美味しそうに飲む姿  
や力強い牛が描か

入賞作品は全農長野の  
ホームページまたはこちらよりご覧ください



前列左から アルベスジランダマリアルイザさん、宮澤拓士さん、山岸桃花さん、  
宮澤旬さん、田口瑠兼さん、藤澤楓麻さん、勝田ひかりさん、久住菜月さん、  
市川奏汰さん、松沢あかりさん

第38回「くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール入賞者

【金賞の部】 (敬称略)

| 賞            | 学校・園名            | 学年・年齢 | 氏名                  |
|--------------|------------------|-------|---------------------|
| 長野県知事賞       | 富士見小学校(諏訪郡富士見町)  | 3年生   | 田口 瑠兼               |
|              | 昭和小学校(長野市)       | 6年生   | 藤澤 楓麻               |
|              | 日向幼稚園(上田市)       | 5歳    | 宮澤 旬                |
| 長野県教育委員会賞    | ひかり園(長野市)        | 5歳    | 勝田 ひかり              |
|              | 米沢小学校(茅野市)       | 2年生   | 山岸 桃花               |
|              | ひかり園(長野市)        | 5歳    | 久住 菜月               |
| (一社)Jミルク会長賞  | 杉の子幼稚園(北佐久郡御代田町) | 6歳    | 市川 奏汰               |
|              | 須坂小学校(須坂市)       | 6年生   | 宮澤 拓士               |
| 長野県牛乳普及協会会長賞 | 緑ヶ丘小学校(長野市)      | 6年生   | 松沢 あかり              |
|              | 上の原保育園(伊那市)      | 6歳    | アルベス ジランダ<br>マリアルイザ |

れた素晴らしい作品でした。

金賞及び銀賞は、11月に長野県庁1階ロビーと

JA長野県ビル1階ホールで展示しました。

このコンクールを通じて、牛乳・乳製品の普及及び酪農への理解醸成に努め、後援をいただいた関係団体とともに、「安心・安全の信州産牛乳」の消費拡大に今後も努めて参ります。

## JAグリーン長野の ネーミングライツに協力 長野パルセイロレディース ホーム初戦



きのこたつぱり豚汁を受け取るサポーター

JA全農長野は11月18日(土)、JAグリーン長野に協力し、長野パルセイロレディースでの同JAのネーミングライツ(冠試合)できのこたつぱり豚汁を振舞いました。

きのこたつぱり豚汁は、JAグリーン長野産えのきたけとぶなしめじ、長野県産信州ポーク、ハクサイ、ダイコン、白ネギ、味噌を入れ、200食を用意しました。サポーターはたつぱりと具が入ったきのこたつぱり豚汁を受け取り「体が温まる」「野菜やきのこの旨味が出て美味しい」と味わい、応援の英気を養いました。

JAグリーン長野はAC長野パルセイロのシルバースポンスを務めています。全農長野北信事業所はJAグリーン長野のスポンサー活動を支援する一環として今回取り組みを実施しました。

## JA全農長野の事業現況▶

令和5年度11月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

| 部門          | 区分 | 実績      | 計画比 | 前年比 |
|-------------|----|---------|-----|-----|
| 生産振興課       |    | 0       | 0   | 0   |
| 野菜種苗センター    |    | 114     | 86  | 93  |
| 生産振興部計      |    | 114     | 86  | 82  |
| 米           | 穀  | 10,818  | 93  | 103 |
| 果実花き        |    | 40,686  | 105 | 104 |
| 野菜きのこ       |    | 63,371  | 93  | 107 |
| 営業          |    | 11,578  | 90  | 106 |
| 生産販売部計      |    | 126,452 | 96  | 106 |
| 包装資材        |    | 6,405   | 101 | 107 |
| 生産資材        |    | 5,782   | 95  | 76  |
| 農業機械        |    | 4,203   | 93  | 98  |
| 施設住宅        |    | 5,923   | 126 | 124 |
| 生産購買部計      |    | 22,313  | 103 | 99  |
| 畜産酪農        |    | 21,437  | 103 | 105 |
| 三岳牧場        |    | 188     | 103 | 105 |
| SPF繁殖センター   |    | 185     | 90  | 92  |
| 八ヶ岳牧場       |    | 182     | 106 | 133 |
| 畜産酪農部計      |    | 21,993  | 103 | 105 |
| 燃料・ホームエネルギー |    | 16,842  | 101 | 98  |
| SS協同経営      |    | 5,154   | 111 | 103 |
| 生活          |    | 6,127   | 107 | 103 |
| 生活部計        |    | 28,123  | 104 | 100 |
| 長野県本部計      |    | 198,988 | 99  | 104 |

(内部販売高含む)

## 1月のラジオ番組表▶

| 放送日時             | 放送局        | 番組名                              | 放送内容(予定)         |
|------------------|------------|----------------------------------|------------------|
| 1/31(水)<br>11:50 | SBC<br>ラジオ | 坂ちゃんの<br>ずくだせえぶりでい内<br>「暮らしの応援団」 | 燃料・ホームエネ<br>ルギー課 |

グリーンリーダー  
X(旧ツイッター)はこちら▶



グリーンリーダー  
WEB版はこちら▶



## 今月のおすすめレシピ

第41回牛乳・乳製品利用料理コンクール長野県大会

最優秀賞(長野県知事賞) レシピ考案:野木彌生さん

## スパイシー! 鮭の カレーミルク煮込み



### ■材料(4人分)

- ・牛乳..... 280ml
- ・ジャガイモ..... 120g
- ・バター..... 4g
- ・ニンジン..... 80g
- ・生鮭(60g)..... 4切れ
- ・玉ねぎ..... 80g
- ・塩・コショウ..... 少々
- ・ブロッコリー..... 120g

### 〔調味料〕

- ・薄力粉..... 8g
- ・コンソメ..... 4g
- ・カレー粉..... 6g(スパイシーな仕上がります。苦手な場合は加減してください)

- ①生鮭は食べやすい大きさに切り、塩・コショウをふる。ブロッコリーは小房に分け、茹でておく。
- ②ジャガイモ、ニンジンは一口大の乱切りにし、600Wの電子レンジで3分加熱し、柔らかくする。玉ねぎはくし切りにする。
- ③フライパンにバターを熱し、温まったら生鮭を入れて両面に焼き色を付け、一度取り出す。
- ④同じフライパンに野菜類を加え、玉ねぎが透き通るまで炒める。
- ⑤④に薄力粉とカレー粉を少しずつ加え、粉っぽさがなくなるまで炒め、牛乳を少量ずつ加えて混ぜる。
- ⑥鮭を戻してコンソメで調味し、野菜類が柔らかくなるまで煮込む。
- ⑦お皿に盛り付け、ブロッコリーを添える。

### ワンポイント アドバイス

\* お好みの魚、野菜類でも美味しく作れます。カレー粉の量を調整すればお子様でも食べやすくなります。牛乳とカレー粉を使うことで、減塩ができます(1人分の食塩相当量0.8g)。塩分控えめですが、ご飯にもパンにも合うおかずです。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。  
昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染  
症法上の位置づけが「5類感染症」になり  
「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」へ  
の転換が図られ、ようやく日常を取り戻  
しながらも、変化が大きな1年だったよう  
に感じます。  
特に、「コロナ禍を契機に中高年層のス  
마트フォン保有が急進したことにより、  
この年始挨拶もFacebookやX  
(旧Twitter)、Instagram  
などSNSやLINE、メールなどで  
挨拶を済ませたという方も多いのではな  
いでしょうか。また、若者たちの間では、  
ソーシャルメディアを活用した祝い方、例  
えば、オンラインでのお年玉のやり取り  
や、バーチャルリアリティを使った新年の  
カウントダウンイベントなどが人気を集  
めており、「ウィズコロナ」から「アフター  
コロナ」への変化をおおいに感じられてい  
ると思います。  
本年は「甲辰(きのえたし)」です。その  
力強さから「新たな可能性が開ける年」と  
言われています。アフター「コロナ」で様々  
な変化が起こり、時にはその対応が大変と  
思えたこともあったかと思えます。  
本年は変化から新たな時代を実感が出  
来る年です。私もこの時代の潮流に乗り  
遅れることがないよう、頑張つて参りたい  
と思います。  
最後にこの1年が読者の皆様にとって、  
健康で素晴らしい年となることをお祈り  
するとともに、本年も本誌のご愛読をよ  
ろしく願っています。  
(一)

ご  
つ  
つ  
あ  
ん  
で  
す

# 信州の農畜産物



JA全農長野は、長野県の農畜産物を通して御嶽海関を応援しています。



光と風と水のハーモニー  
**JA全農長野**



光と風と水のハーモニー  
**JA全農長野**

JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>  
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>



グリーンリーダー1月号 (毎月発行) 2023年12月20日発行 第536号  
発行/ JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 発行人/ 高田武司 印刷/ PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3